

ウォーキング

伊坂ダム周回コースを歩く

令和7年9月19日（金）

1. ルート 三岐鉄道暁学園前駅～伊坂ダムボートハウス～ダム管理棟～湖畔で昼食～ダム一周右回り～ボートハウス～暁学園前駅

6.5 km (10,500 歩)

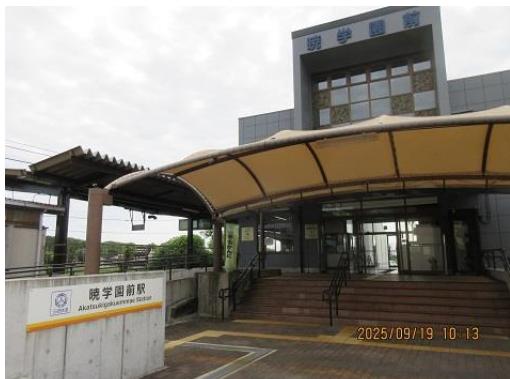
2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・喜吉 雄・伝田 貢・濱田 一

5名

3. ドキュメント

今年の夏も暑かったと表現したいところであるがとっても暑く酷暑も通り抜けており四日市の隣の桑名市では40.3°Cを記録した。熱中症やトラブルを避けるため、6月から8月まで部活動を休止して9月には歩こうと計画していたところ一向に気温は下がらず9月もお休みかと思いきや19日には秋の気配とのことで急遽都合の良い者で歩くこととした。コースは6月に計画した「伊坂ダム周遊コース」急遽の決行だけに参加者もいつもより少なく5名となった。

三岐鉄道暁学園前駅に10時10分降り立ち、久しぶりにメンバーの顔合わせとなりそれぞれ挨拶を交わす。先ずはお昼の飲食物を調達するためにコンビニに立ち寄るコースを取って歩き始める。朝明川に架かる新小角橋を渡ると伊坂ダムに通じる道は急坂となる。



暁学園前駅



長閑な田舎道



鈴鹿の山並みはすっきり



伊坂ダムの下は急坂

急坂を上り詰めると伊坂ダムの湖畔に出る。そこには桑名西高校のボートハウスがあり通常ウォークの人はここから左回りで歩き、サイクリングの人は右回りと定められているらしいが我々は昼食の関係もあって右回りで歩く。湖畔は心地よい風が吹いているところもあるが日が高くなるにつれて気温も30度近くになって汗が噴き出すほどとなる。



桑名西高校のボートハウス



ダムの西側湖畔



伊坂丹生水神の鳥居



ダムの守り神として設置

しばらく歩くと水神さんが祀られていた。ダムの守護神として工事を請け負った熊谷組が奈良県川上村の社寺から分霊された神をここに鎮座したことである。

何年か前に歩いたこの周回コースは平坦なような記憶があるがこの日はいくつかの起伏のある難コースのように思われたのは年老いた証拠なのであろうかと感じながら歩を進め。適当に水分補給をしてきれいな湖面を眺めながら歩く。



ダム堰堤方向を望む



整備された散歩道

伊坂ダム

ダムと呼ばれているが四日市コンビナートの工業用水の供給を目的とした貯水池でこのダムに流れ込む川はない。遠くの揖斐川・いなべ川の水源から送られる水を貯水する役目を果たしている。1963年着工、1966年竣工、一日180,000立方メートルを供給している。周回コースは3.6Kmでウォーキングやサイクリングの憩いの場として市民に親しまれている。



広々とした湖面



朝明川に架かる送水管

12時ごろダムの管理棟に到達するもこの日は公休日とのこと資料館にも立ち寄ることができず残念であった。このコースはホームグランドとして毎日のように伝田さん、伊藤さんが歩いているとのことで羨ましい気持ちを感じる。堰堤を過ぎたところに絶好の場所を探して座り込む。早速、乾いた喉と身体が求めるビールで乾杯!!美味しい・・・

5人ではあったけれどもいろいろの話で時間の経つのも忘れるぐらい楽しく過ごす。

13時40分、立ち上がり残りの湖畔を歩いてもと来た道を辿って暁学園前駅に到達する。

まだ、少し暑かったけれども歩いてよかったですとはみんなの感じであった。

